

18,000人余の町民と共に、
自信と誇りに満ちた南三陸町を目指して

新しく誕生した南三陸町は、
悠久の年月を経て形成された
リアス式海岸や先人達が残し伝
えてきた伝統文化など豊かな自
然や歴史という、貴重な財産に満
ち溢れた町です。

この貴重な財産を今に活かし、
未来に引継ぐため、自分たちの
暮らしや生業を再認識し、地域性、
独自性を意識した”小さくとも
キラリと光る“まちづくりを進め
ています。

新しいステージ”南三陸町“は、
町を愛する町民一人ひとりが
主役です。自信と誇りに満ち溢
れた町民と共に未来に引き継げ
る魅力ある物語を創っていきたい
と考えています。

南三陸町長 佐藤 仁



Together, over 18,000 citizens are aiming at building a
confident and proud Minamisanriku Town

Newly born Minamisanriku Town is abundant with valuable assets of rich
nature and history such as the Rias Coast formed over an eternity, and traditions
and cultures that have been left by and passed down from our ancestors.

In order to make the best use of the valuable assets in the present time and to
pass them on to the future, we are rediscovering our living and livelihood, and
proceeding to build a “small but shiny” town that is aware of locality and originality.

In the new stage, “Minamisanriku Town”, each citizen who loves this town
plays a leading part. I hope to write an attractive story that will succeed to the
next generations, together with townspeople who are confident and proud.

南 三 陸 町

町 章



南三陸町の「南」と「三」モチーフに
未来の空へと羽ばたく鳥、美しい里山
の自然、未来を創造する新しい波を表現。
オレンジの丸は、新町の未来を照らす
太陽と、町民の新町にかける情熱を表現しています。

位 置

東経 141°27'01”
北緯 38°40'29”

役場所在地

〒986-0792 宮城県本吉郡南三陸町志津川字塩入77

面 積

163.74平方キロメートル

気象状況

年平均気温11.1℃、年間降水量1249.8ミリメートル
〔1996～2005年の10年間の平均〕

町 花

【ツツジ】 かざり気なく素朴に咲き誇るツツジは、い
たるところに自生し、みんなに親しまれています。当町
では、特に田束山のツツジが華やかで、毎年5月に開
催される「田束山つつじまつり」には多くの行楽客が
訪れます。

町 木

【タブノキ】 暖かい地方の海沿いに多い常緑の高
木で、当町の海岸部のいたるところに自生しています。
特に湾内に浮かぶ椿島は群生の北限地として植物
学上極めて価値が高く、椿島暖地性植物群落として
国の天然記念物に指定されています。

町 鳥

【イヌワシ】 国の天然記念物に指定されている絶
滅危惧種ですが、当町の豊かな自然環境の中で生
息している希少な鳥です。

海の生物

【マダコ】 志津川湾の住人で、当町自慢の物産品。
さまざまなイベント・交流などでの展開が期待できる、
産業の活性化を象徴するユニークなシンボルです。

イメージカラー

【スカイブルー】 発展、希望、爽やかさ、やすらぎ、
そして南三陸の空と海を象徴しています。

